

2018

今年も獅子舞で  
無病息災ですね

# 日和山



## 思いあう心と人情

園長 遠藤 均



私はなぜか五十歳を過ぎた頃から「男はつらいよ」が好きになり、最近ではBSで再放送された「寺内貫太郎一家」を好んで観ていました。「男はつらいよ」は、大衆演劇を観る様な感覚の映画で、「寺内貫太郎一家」は制作された当時としては、斬新な感覚を取り入れた若者受けする番組でした。それぞれタッチは違いますが、家族とそれを取り巻く住民が取っ組み合いの喧嘩も含め厄介な関係はあるものの互いを思いあう人情溢れるコメディです。

今は、経済が豊かになると共に「フライバシー」が尊重され他者と係わる事は嫌われ、敬遠され、以前と比べると関係性が希薄になっている様に感じます。確かに「フライバシー」が尊重される事は自由で快適ですが、反面孤独を感じる時があります。私が「男はつらいよ」や「寺内貫太郎一家」に魅かれるのは、他者と関係を持つ事は厄介な面も多いが、それにもまして人情が持つホスピタリティーに魅かれ、「ホッ」とするからです。

私達が生業としている福祉の仕事は、人と人の関係が切っても切れないものです。そして福祉の仕事で一番大切なのは、「人」であると思います。人と人との関係は一方的なものではなくお互いを思いあう事で、それが人情というものではないでしょうか。康和園は今年で開設四十六年を迎え、その間多くの人達の「人情」によって支えられ、今日があると思います。今後もこれを継承し福祉を支える人の育成を行うために、「思いあう心と人情」を伝えて行く事に努めたいと考えます。





万代太鼓の子供たちです

ありがとうございました



これこれ!

ご家族様とお買物

訪問販売



おでかけドライブ

関屋浜にて  
奥様と

大きな口で  
パクリ

みなさん

秋の展覧会の作品を紹介します。  
新潟になじみの風景を貼り絵にしました。



みんなさん  
がんばりました。



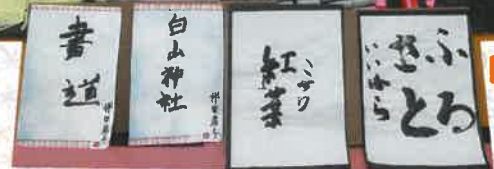
佐渡汽船(やびこ)



みなとびあ  
旧税関  
(かくた)



白山神社  
(しなの)



萬代橋(あがの)

編集後記

春の野菜を巻くから、春巻き。中国では昔、立春に新芽の出る野菜で作られていたことから、この呼び名です。春のほんの短い間しか味わえない旬のものは、日本においても、苦みや香りで季節を感じます。

4月	お花見散歩
5月	浮洲祭り見学
6月	恵香会(琴演奏会)
7月	七夕会 湊稲荷祭り見学
8月	住吉行列見学 お盆法要会 納涼会
9月	敬老会

行事予定



ぼたん室 布川 ケイ 様

私が書きました

表紙の字題

